

〈施工説明書〉

丸型手すりφ35 ジャストカットシステム

株式会社 ウッドワン T738-0023
広島県廿日市市下平良1-12-1

商品相談窓口



0120-813-331

【受付時間】平日8:30~17:00【休日】土日・祝日・GW・年末年始・夏期休暇

このたびはウッドワンの商品をご採用いただき、誠にありがとうございます。

施工前にこの施工説明書をよくお読みいただき、安全に正しく施工されるようお願い致します。

製品を安全に正しくお使いいただき、お客様や他の人々への危害・財産への損害を未然に防止するために、「安全上のご注意」をよくお読みください。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ずお守りいただき、内容をよく理解して正しくお使いください。

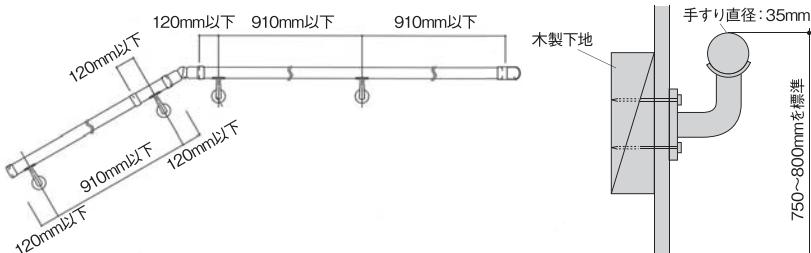
安全上のご注意 安全に正しくお使いいただくために必ずお守りください



注意 施工に際して以下の注意が守られない場合、施工に従事される方の傷害並びに住まわれる方の傷害または財産上の損害が生じるおそれがあります。確実にお守りください。

警告!

- 柱・間柱・胴縁などの堅固な下地があることを確認してご使用ください。
- 下地がない、壁面が堅固でない、平面でない、などの場所に取り付ける場合は補強材を下地に固定した上に取り付けしてご使用ください。
- 屋外や、浴室などの湿度が高い場所にはご使用できません。
- ブラケット等の手すり受け金具は、手すりが折れないように910mm以内での間隔で取り付けてください。
- フリージョイントなどの接続金具をご使用する場合は両側120mm以内にブラケット等の手すりを取り付けてください。



- 指定の固定方法で取り付けてください。
- 指定の下穴をあけてご使用ください。
- φ35mmの丸型手すり以外にはご使用できません。
- 取り付け後にガタツキ、緩み、ビスの締め忘れがないか確認してください。
- 万が一ガタツキ、ヒビなどの不具合を発見した場合は、直ちに使用をやめて取付業者または販売店にご連絡ください。

注意!

- 屋外や、浴室などの湿度が高い場所にはご使用できません。
- 開梱後は換気を行ってください。本製品は、ホルムアルデヒド・VOC(揮発性有機化合物)対策品ですが、新築・リフォーム直後や夏場など高温の環境下ではホルムアルデヒド・VOCが室内に滞留しやすいため、換気を行うようにしてください。
- 階段の勾配が45°を超える場合は、手すりを両側に取り付けてください。
- 手すりは踏面から700/750/800/850mmのいずれかの高さを選んでいただけます。
- 手すりは連続して取り付けてください。(内廻りの場合は分割となります)

お願い 安全に快適に使用していただくために、理解していただきたい内容です。

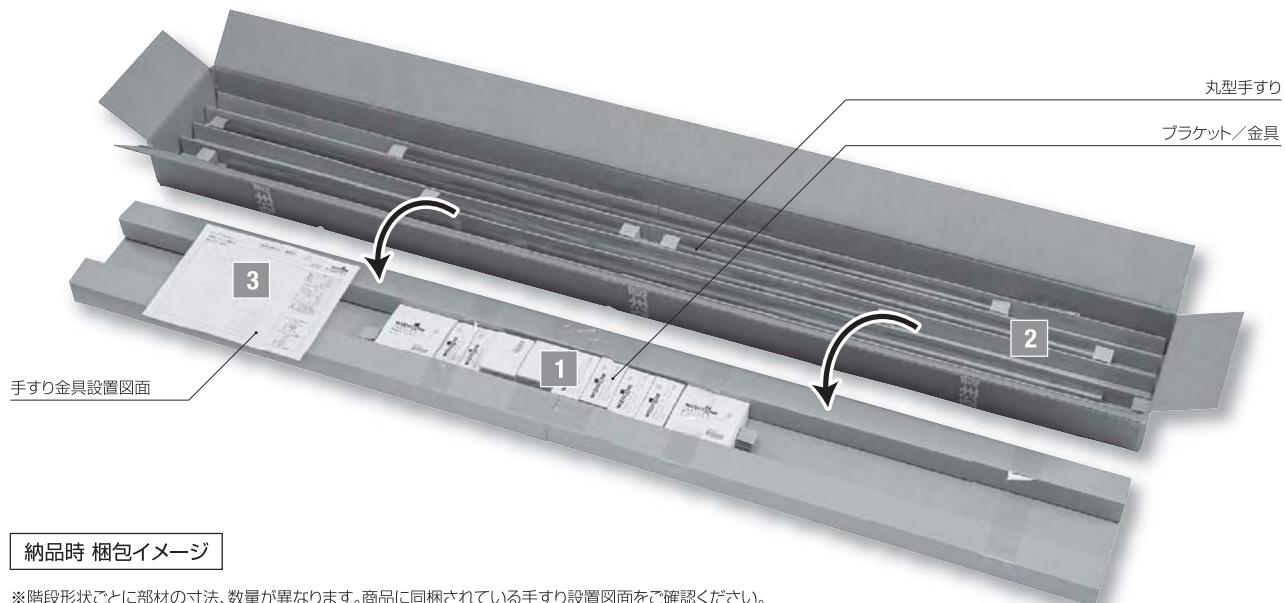
・下穴はネジ径の80~85%を目安としてください。

梱包内容の確認

※階段形状似寄り梱包形態は異なります。

梱包内容

「丸型手すりφ35ジャストカットシステム」は下記梱包物をセットしてお送りします。同梱のセット内容をご確認の上、施工してください。



※階段形状ごとに部材の寸法、数量が異なります。商品に同梱されている手すり設置図面をご確認ください。

1 手すり金具を個別包装し、必要数梱包しています。

① エンドエルボー金具 ② 壁取り付けブラケット ③ フリージョイント金具



2 ジャストカットした丸型手すりを必要本数梱包しています。



⚠ 注意

「丸型手すりφ35ジャストカットシステム」では商品注文時に入力頂きました階段条件をもとに、壁取り付けブラケット金具位置出しと丸型手すりのジャストカットを行っております。フリージョイント金具の丸型手すりのみ込み代(21.5mm)で軸体の寸法誤差を調整できるようになっていますが、手すり施工前に必ず軸体制度にずれ等がないかを確認してください。ずれ等がある場合は、その誤差が2mm以下となるように調整してください。

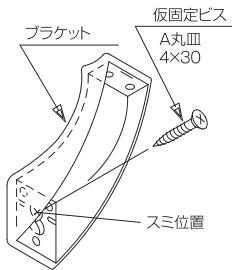
施工手順 1

ブラケットの取り付け

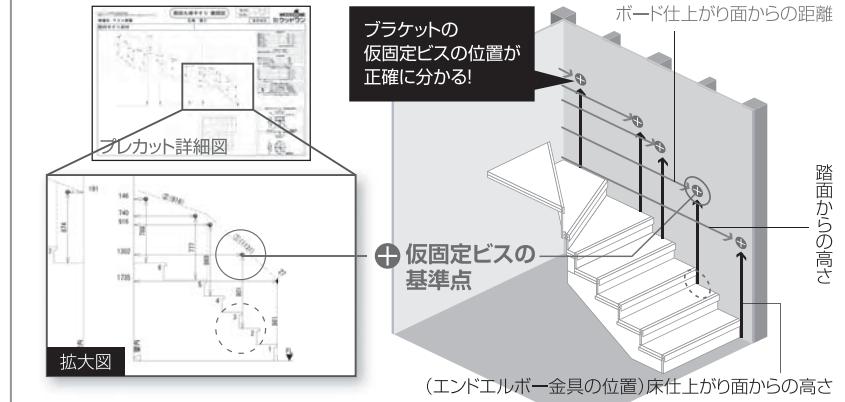
壁取り付けブラケット 仮固定ビスの取り付けと仮固定

手すり金具設置図面に明記されている、壁取り付けブラケットの仮固定ビス取り付け位置をスケールや差し金を使い確認。墨付けを行います。図面の寸法と間違がないことを確認し、仮固定ビスを壁面に取り付けます。

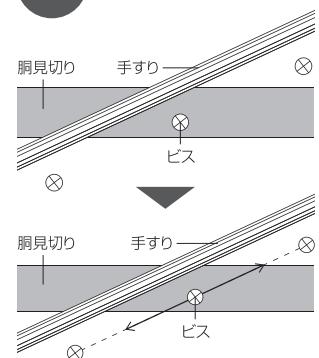
仮固定ビス(TP4×30)に緩みをもたせて取り付け、およそその階段勾配に合わせてブラケットの角度を決め、ドライバーでブラケットを仮固定します。あとから角度調整が出来る程度に、仮固定ビスは緩めておいてください。



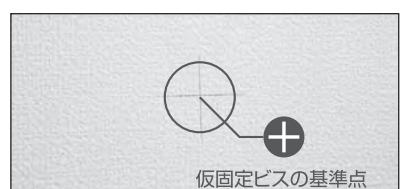
- 3 階段を設置した後に手すりを取り付けるため、
階段の踏面からの基準点を図面化。
商品納品時に図面を同梱しています。



POINT

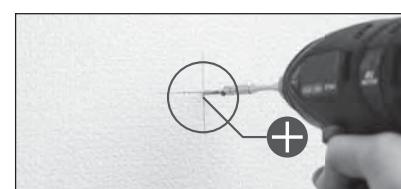


胴見切りなど図面での仮固定位置に障害がある場合は、仮固定ビスの基準点2点を結んだ延長線上にビス打ちの位置を移動して取り付けてください。



1 取り付け位置の墨出し

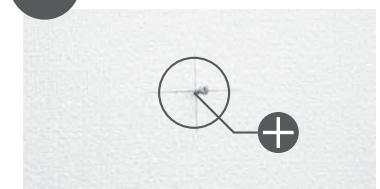
取り付け位置の墨出し図面に従い
事前に下地を設置し、
ブラケット取り付け位置を墨出します。



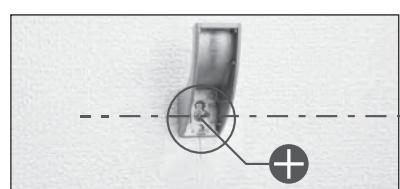
2 仮固定ビスの取り付け

仮固定ビスの基準点に向けて、
仮固定ビスを取り付けます。

POINT

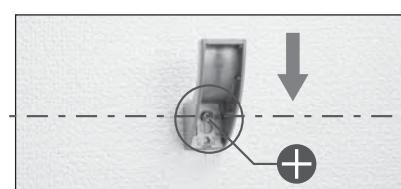


仮固定ビスは、クロス貼り前でも
取り付けることができます。



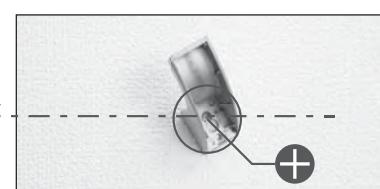
3 仮固定ビスに仮セット

壁取り付けブラケットを、
仮固定ビスに仮セットします。



4 指定位置まで下げる

壁取り付けブラケットを
指定位置まで下げます。



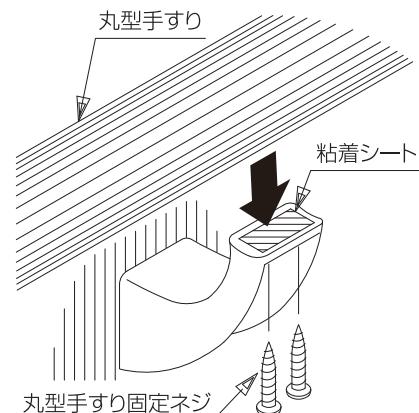
5 角度調整

あとから角度調整ができるよう、
仮ビスを緩めておきます。

施工手順 2

丸型手すりの仮置・位置調整

壁取り付けブラケットの丸型手すり設置面に取り付けてある両面テープの離型紙を剥がし、手すり設置図面に明記されている丸型手すりの番号と長さを確認して所定の位置に仮置きしていきます。



1 ブラケットをすべて仮固定

壁取り付けブラケットを①～⑥の手順に従いすべて仮固定していきます。



2 手すりを仮置き

図面の番号順に仮組みした手すりをブラケットに仮置きします。

※廻り部分から仮置きしてください。



手すりの番号は図面の番号と連動しているの簡単に仮組できます。

POINT

手すりの仮固定や取り付けも簡単に行えます。

転がりやすい丸棒手すりを、両面テープで仮固定。角度や位置を確かめながら、手すりの取り付けが簡単にできます。



1 丸型手すりも可能

階段下の勾配により仮置きが難しかった丸型手すりも、粘着シートがあるので簡単に固定できます。



2 仮固定が簡単

両面テープの上に丸型手すりを置き、仮固定します。

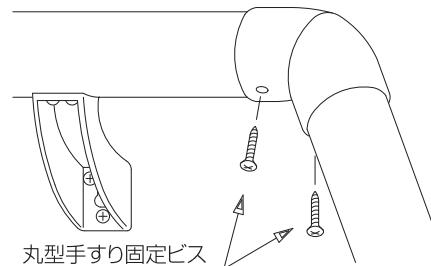


3 手すりの取り付けも簡単

仮固定した丸棒手すりは、固定ネジを使って容易に取り付けられます。

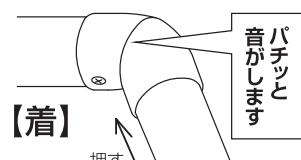
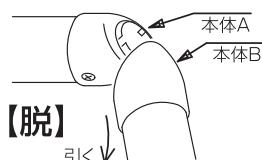
接続部の固定

フリージョイント金具を仮置きした丸型手すりの所定位置に仮設置し、片側の丸型をフリージョイント金具とビス固定(TP3.5×20)します。この状態で全体のバランスを見ながら手すりの設置位置を調整します。壁取り付けブラケットに丸型手すりが座っているか、フリージョイント金具の接続部分に異常な負荷がかかっていないかを確かめてください。



フリージョイント金具は分離できるので、手すりの仮置きや取り外しも簡単です。

丸型手すりを取り付けブラケットとビス固定(TP3.5×20)します。工事手順として、丸型手すり設置後に壁紙施工をする場合であれば、この状態で壁取り付けブラケットを仮固定ビスから外します。手すりのコーナー部分を接合するフリージョイント金具は分割式なので部位ごとに分割して脱着が出来ます。壁紙施工完了までの間、適切な場所に養生を施して保管してください。残りの部材やビスを紛失しないように注意してください。また、フリージョイント金具は、角度調整が容易なだけではなく一度接合した状態で仮置きでき、仮置きから取り外す際も、ジョイント部分を分離して外せるので手すりの取り回しも簡単です。



フリージョイント金具の取り外し方



最大角度5度の開きと21.5mmの差し込みシロで施工誤差に対応。

フリージョイント金具は固定と脱着が容易なため、角度調整が可能。最大角度5度で施工誤差に対応。また、差し込みシロが深く21.5mmの余裕があります。



壁の歪みにも対応

フリージョイント金具は、壁のゆがみにも対応します。



最大21.5mm
差し込みシロ

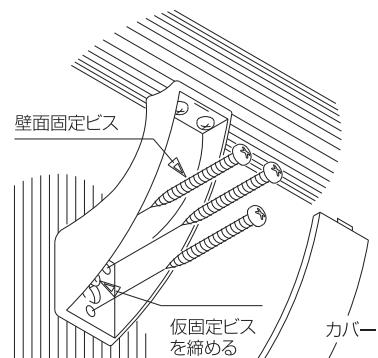
差し込みシロが深いため、施工の際の融通が利きやすく現場での対応も容易に行えます。

施工手順 4

ブラケットの本固定と仕上げ

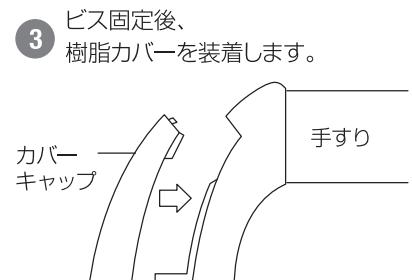
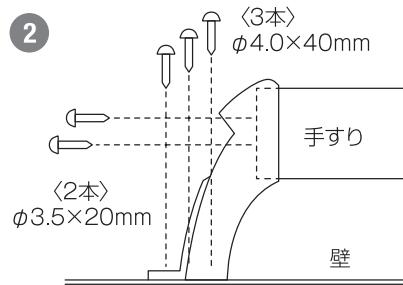
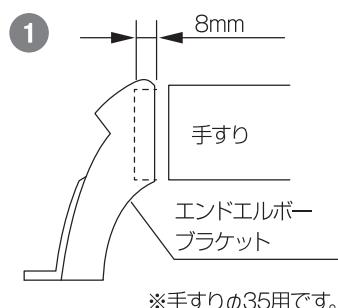
壁取り付けブラケットの固定

壁紙工事完了後、仮固定ビスの位置を確認し仮固定ビス廻りの不要な壁紙をカットします（壁取り付けブラケットの座面に隠れるように）。丸型手すりが固定された状態の壁取り付けブラケットを仮固定ビスに設置し、フリージョイント金具どうしを連結します。その際、「パチン」と音が出るようにしっかりと連絡樹脂材と金具を嵌め込んでください。仮置きの状態を確認し納まりに問題がなければ、壁取り付けブラケットを壁面にビス固定（TP4×40）します。ビス固定後に樹脂カバーを装着してください。



エンドエルボー金具の取り付け

最後に階段のスタート、エンド部分にエンドエルボー金具を取り付けます。ビス固定（壁面固定ビス：TP4×40/丸型手すり固定ビス：TP3.5×20）してください。



※手すりφ35用です。



1 本固定

ブラケットの位置が確定したら、本固定します。



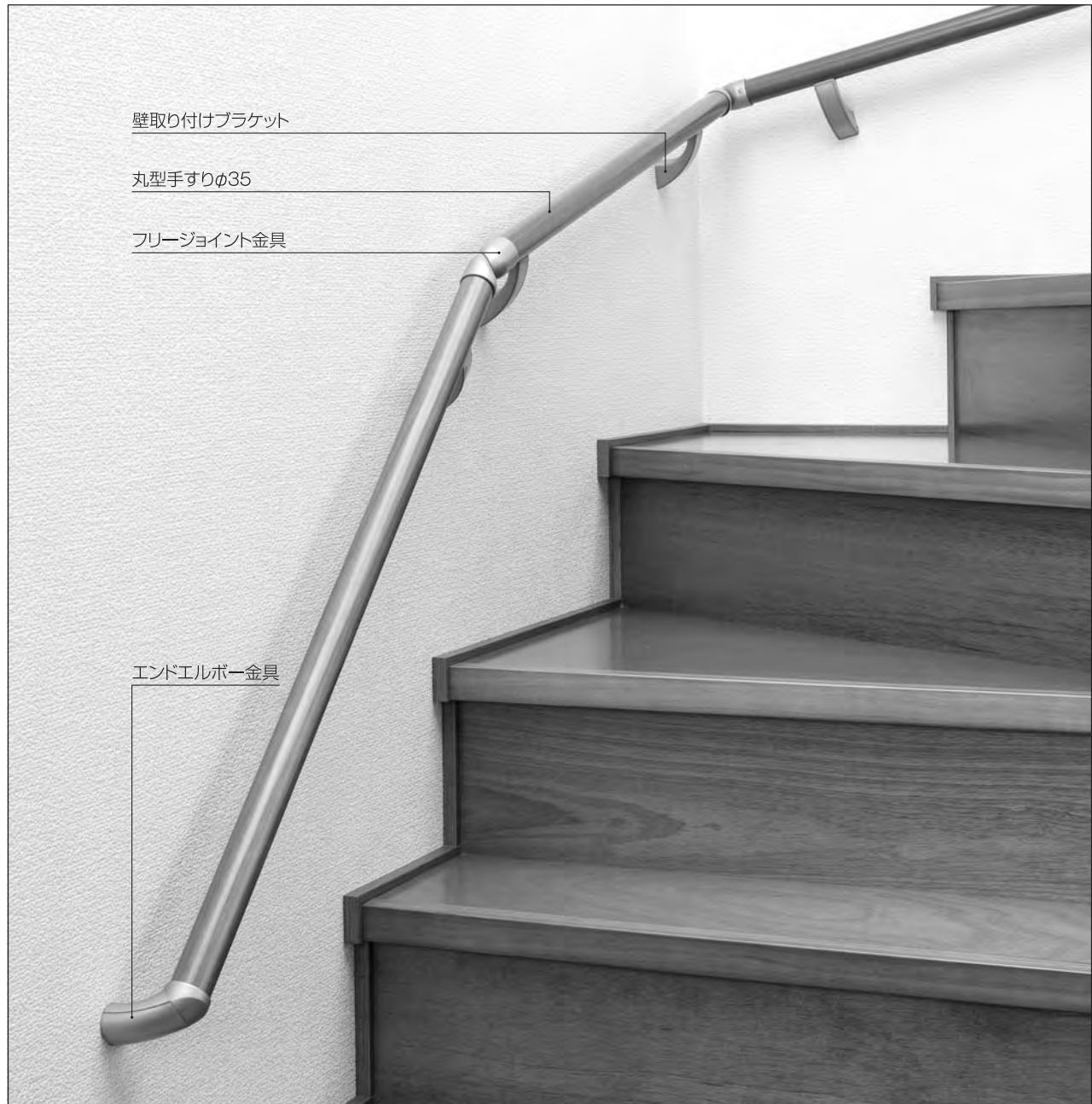
2 エンドエルボー金具の取り付け

全ての手すりを施工した後、エンドエルボー金具を本固定します。



3 カバーキャップ装着

カバーキャップを装着します。



4 取り付け完了

施工終了後

◆養生

当て傷・擦り傷等がつかないよう保護紙等でカバーして養生してください。粘着テープなどは直接商品に貼りつけないようにしてください。

◆お手入れのしかた

製品の表面が汚れている場合は、水で薄めた中性洗剤を含ませた柔らかい布を固くしぼってふき取り、乾いた布で仕上げてください。ベンジン・アルコール・シンナーなどの溶剤を使用すると変色・変質しますので、絶対に使用しないでください。

